



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月18日

上場会社名 サンヨー建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1841 URL <http://www.sanyu-co.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 宏二郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 下瀬川 泰

TEL 03-3727-5752

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日 2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,000	28.1	562	66.0	574	65.3	450	42.2
2019年3月期	12,513		1,652		1,654		779	

(注) 包括利益 2020年3月期 454百万円 (41.2%) 2019年3月期 773百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	127.06		4.2	4.0	6.2
2019年3月期	220.80		7.3	11.4	13.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 2019年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の対前年増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	14,281	11,035	77.3	3,108.35
2019年3月期	14,537	10,673	73.4	3,018.66

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,035百万円 2019年3月期 10,673百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	241	269	392	4,266
2019年3月期	2,935	608	121	4,630

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		10.00		20.00	30.00	106	13.6	1.0
2020年3月期		10.00		15.00	25.00	88	19.7	0.8
2021年3月期(予想)		10.00		15.00	25.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、2021年3月期における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、当社グループの事業活動に与える影響につきまして、現時点で合理的に予測することが困難な状況にあるため、業績予想の開示は見送らせていただきます。なお、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	4,000,000 株	2019年3月期	4,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	449,638 株	2019年3月期	464,250 株
期中平均株式数	2020年3月期	3,545,491 株	2019年3月期	3,531,724 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,137	26.8	615	63.3	624	62.7	501	37.6
2019年3月期	11,120	17.2	1,677	227.1	1,677	207.9	803	114.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	141.41	
2019年3月期	227.52	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	14,125	11,112	78.7	3,130.07
2019年3月期	14,367	10,697	74.5	3,025.61

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,112百万円 2019年3月期 10,697百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
4. その他	14
(1) 役員の異動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、弱さが残るものの、第3四半期までは雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移してきました。しかし第4四半期において新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は足下で大幅に下押しされており、大変厳しい状況になりました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移していますが、住宅建設は弱含みが見られ建設技能労働者不足や建設資機材価格の上昇は、慢性的になりつつある中で、感染症の影響により受注状況の変化の動きがみられ、予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、お客様の要望を具体的な形にして応えていくとともに、安定した利益を確保するために①建築事業における品質のさらなる向上、収益力の強化。②不動産事業における建物・宅地分譲の安定提供。③金属製品事業における製品開発及び利益体質の確立。④ホテル事業における安定したサービスの提供および利益体質の強化。を目標に掲げ全社一丸となり取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高9,000百万円(前年同期比28.1%減)、営業利益562百万円(前年同期比66.0%減)、経常利益574百万円(前年同期比65.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円(前年同期比42.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[建築事業]

厳しい受注環境の中、新規受注獲得及び継続したお客様からの受注獲得、コスト削減に努力してまいりました結果、受注高3,746百万円(前年同期比41.4%減)、完成工事高5,990百万円(前年同期比12.7%減)、セグメント利益551百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

[不動産事業]

都心近郊の宅地分譲販売(サンリーフ)は目標未達になりましたが、不動産賃貸事業の堅調な収入を確保した結果、不動産事業収入1,994百万円(前年同期比57.2%減)、セグメント利益514百万円(前年同期比66.7%減)となりました。

[金属製品事業]

鋼製型枠パネルの売上は安定し、工場内の土地利用を再編成した結果、金属製品売上高407百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益2百万円(前年同期12百万円損失)となりました。

[ホテル事業]

伊豆網代温泉松風苑と羽田のビーグル東京とコロドール湯河原の3施設がそれぞれの特徴を生かし運営しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ホテル事業売上高607百万円(前年同期比5.2%増)、セグメント損失16百万円(前年同期19百万円損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、14,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。これは主に完成工事未収入金が492百万円増加したものの現金預金が363百万円、土地が301百万円減少したことによるものであります。

資産合計の内訳は流動資産合計6,779百万円、固定資産合計7,502百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金預金4,266百万円、完成工事未収入金1,195百万円であります。

固定資産の内訳は、有形固定資産6,697百万円、無形固定資産205百万円、投資その他の資産599百万円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、3,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ617百万円減少いたしました。これは主に未成工事受入金425百万円の減少によるものであります。

負債の内訳は流動負債合計2,240百万円、固定負債合計1,005百万円であります。

流動負債の主な内訳は、支払手形・工事未払金等1,096百万円、未成工事受入金218百万円であります。

固定負債の主な内訳は、社債120百万円、退職給付に係る負債268百万円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、11,035百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より363百万円減少し4,266百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における営業活動による資金の支出は241百万円（前年同期は2,935百万円収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益673百万円、売上債権の増加490百万円及び未成工事受入金の減少425百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動による資金の収入は269百万円（前年同期は608百万円支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入733百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動による資金の支出は392百万円（前年同期は121百万円収入）となりました。これは主に短期借入金の減少200百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

わが国の経済の今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続くことが見込まれ、先行きの不透明感が強まっております。

建設業界におきましては、建設技能労働者不足や建設資機材価格の上昇など、構造的な問題を抱える中、景気減速に伴う受注環境の悪化が懸念されます。ホテル業界におきましても、オリンピック・パラリンピックの延期など新型コロナウイルス感染症の影響は、多大であることが予想されます。

次期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を現時点において、合理的に算定することが困難なため、連結業績予想を未定としております。なお、今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

ホテル事業において、政府より4月7日に発令された緊急事態宣言に伴い、当社グループにおいても「松風苑」、「ビーグル東京ホステル&アパートメンツ」、「コレドール湯河原Dog&Resort」が全館休館となっており、翌連結会計年度以降の業績に影響を及ぼすことが予想されます。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主様に対して長期的に安定した利益配当25円を継続して行うことを方針とし、企業体質、財務内容等を総合的に判断する所存であります。

当期の配当につきましては期末15円、中間期末10円、次期の配当につきましては、中間期末10円、期末15円の年間25円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,630,136	4,266,380
受取手形・完成工事未収入金等	844,526	1,338,363
未成工事支出金	41,087	38,682
販売用不動産	787,792	634,360
不動産事業支出金	231,483	388,501
商品及び製品	22,622	25,261
原材料及び貯蔵品	41,471	39,874
仕掛品	6,696	8,425
その他	39,999	39,558
貸倒引当金	△4,280	-
流動資産合計	6,641,537	6,779,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,225,053	4,204,209
土地	4,633,565	4,332,204
その他	493,396	475,190
減価償却累計額	△2,229,788	△2,313,726
有形固定資産合計	7,122,227	6,697,878
無形固定資産		
のれん	182,482	152,069
その他	54,508	53,215
無形固定資産合計	236,991	205,284
投資その他の資産		
投資有価証券	337,994	397,641
関係会社株式	51,682	51,682
その他	146,680	149,935
貸倒引当金	△20	-
投資その他の資産合計	536,337	599,258
固定資産合計	7,895,556	7,502,421
資産合計	14,537,093	14,281,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	808,700	1,096,347
短期借入金	515,984	306,000
未払法人税等	289,314	188,761
未成工事受入金	643,734	218,594
引当金	8,901	9,123
その他	545,382	421,936
流動負債合計	2,812,018	2,240,763
固定負債		
社債	180,000	120,000
退職給付に係る負債	241,522	268,137
その他	630,317	617,171
固定負債合計	1,051,839	1,005,309
負債合計	3,863,858	3,246,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	310,000	310,000
資本剰余金	314,023	316,040
利益剰余金	10,382,242	10,726,503
自己株式	△387,298	△375,111
株主資本合計	10,618,967	10,977,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,268	58,324
その他の包括利益累計額合計	54,268	58,324
純資産合計	10,673,235	11,035,756
負債純資産合計	14,537,093	14,281,829

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
完成工事高	6,862,494	5,990,759
不動産事業収入	4,653,629	1,994,074
兼業事業売上高	997,000	1,015,305
売上高合計	12,513,123	9,000,139
売上原価		
完成工事原価	6,235,296	5,438,768
不動産事業売上原価	3,108,143	1,479,180
兼業事業売上原価	1,029,050	1,029,018
売上原価合計	10,372,490	7,946,967
売上総利益		
完成工事総利益	627,197	551,991
不動産事業総利益	1,545,486	514,894
兼業事業総損失(△)	△32,050	△13,712
売上総利益合計	2,140,633	1,053,172
販売費及び一般管理費	487,691	491,120
営業利益	1,652,942	562,051
営業外収益		
受取利息	197	63
受取配当金	8,413	8,702
その他	5,135	7,409
営業外収益合計	13,745	16,174
営業外費用		
支払利息	5,833	4,212
社債発行費	6,024	-
その他	51	0
営業外費用合計	11,909	4,212
経常利益	1,654,778	574,014
特別利益		
固定資産売却益	-	58,570
受取和解金	-	41,276
保険差益	50,591	-
受取損害賠償金	50,000	-
その他	3,442	-
特別利益合計	104,034	99,846
特別損失		
役員退職慰労金	618,216	-
その他	1,247	-
特別損失合計	619,464	-
税金等調整前当期純利益	1,139,349	673,861
法人税、住民税及び事業税	356,070	227,070
法人税等調整額	3,464	△3,688
法人税等合計	359,534	223,381
当期純利益	779,814	450,480
親会社株主に帰属する当期純利益	779,814	450,480

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	779,814	450,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,187	4,056
その他の包括利益合計	△6,187	4,056
包括利益	773,626	454,536
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	773,626	454,536
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	310,000	310,093	9,690,639	△397,456	9,913,277
当期変動額					
剰余金の配当			△88,211		△88,211
親会社株主に帰属する当期純利益			779,814		779,814
自己株式の取得				△116	△116
譲渡制限付株式報酬		3,929		10,274	14,203
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	3,929	691,602	10,157	705,690
当期末残高	310,000	314,023	10,382,242	△387,298	10,618,967

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	60,456	60,456	9,973,733
当期変動額			
剰余金の配当			△88,211
親会社株主に帰属する当期純利益			779,814
自己株式の取得			△116
譲渡制限付株式報酬			14,203
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△6,187	△6,187	△6,187
当期変動額合計	△6,187	△6,187	699,502
当期末残高	54,268	54,268	10,673,235

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	310,000	314,023	10,382,242	△387,298	10,618,967
当期変動額					
剰余金の配当			△106,218		△106,218
親会社株主に帰属する当期純利益			450,480		450,480
譲渡制限付株式報酬		2,016		12,186	14,202
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	-	2,016	344,261	12,186	358,464
当期末残高	310,000	316,040	10,726,503	△375,111	10,977,432

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	54,268	54,268	10,673,235
当期変動額			
剰余金の配当			△106,218
親会社株主に帰属する当期純利益			450,480
譲渡制限付株式報酬			14,202
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	4,056	4,056	4,056
当期変動額合計	4,056	4,056	362,520
当期末残高	58,324	58,324	11,035,756

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,139,349	673,861
減価償却費	162,958	154,765
のれん償却額	30,413	30,413
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25,471	26,615
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△79,833	-
受取利息及び受取配当金	△8,610	△8,765
支払利息	5,833	4,212
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,442	△58,570
受取和解金	-	△41,276
保険差益	△50,591	-
受取損害賠償金	△50,000	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△127,038	△490,911
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	434,862	2,405
販売用不動産の増減額 (△は増加)	260,676	153,432
不動産事業支出金の増減額 (△は増加)	1,239,695	△157,018
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,578	△2,769
仕入債務の増減額 (△は減少)	△54,981	287,646
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△91,986	△425,140
不動産事業受入金の増減額 (△は減少)	△38,200	△11,800
未払消費税等の増減額 (△は減少)	192,482	△59,344
その他	9,674	△47,524
小計	2,989,152	30,230
和解金の受取額	-	41,276
保険金の受取額	53,936	-
損害賠償金の受取額	50,000	-
利息及び配当金の受取額	8,610	8,765
利息の支払額	△5,833	△4,212
法人税等の支払額	△160,690	△317,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,935,175	△241,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△218,233	△401,829
有形固定資産の売却による収入	3,443	733,539
投資有価証券の取得による支出	△3,402	△53,945
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△385,000	-
貸付けによる支出	-	△8,400
貸付金の回収による収入	12,265	5,906
その他	△17,399	△5,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608,326	269,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	-	△200,000
長期借入金の返済による支出	△16,008	△16,484
社債の発行による収入	293,975	-
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
配当金の支払額	△88,078	△106,098
その他	△8,782	△9,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,106	△392,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,447,955	△363,756
現金及び現金同等物の期首残高	2,182,181	4,630,136
現金及び現金同等物の期末残高	4,630,136	4,266,380

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、建築を中心とした建設工事全般に関する事業と、不動産の売買及び賃貸等に関する不動産事業を主力に事業展開をしており、改修工事を含む建築工事全般から構成される「建築事業」、マンション分譲事業を中心とした不動産の売買、賃貸等に関する事業から構成される「不動産事業」、鉄道車両部品の製作、金属加工業から構成される「金属製品事業」、旅館、ホテル、簡易宿泊所の事業から構成される「ホテル事業」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、製造原価に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	建築事業	不動産事業	金属製品事業	ホテル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,862,494	4,653,629	419,351	577,649	12,513,123	-	12,513,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	5,565	-	5,565	△5,565	-
計	6,862,494	4,653,629	424,916	577,649	12,518,689	△5,565	12,513,123
セグメント利益又は損失(△)	627,197	1,545,486	△12,502	△19,547	2,140,633	△487,691	1,652,942
セグメント資産	1,410,730	5,798,905	741,832	1,127,003	9,078,472	5,458,621	14,537,093
その他の項目							
減価償却費	24,091	67,548	22,287	43,205	157,132	8,920	166,053
のれん償却額	-	-	-	-	-	30,413	30,413
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	18,207	194,491	2,532	9,666	224,898	4,930	229,829

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 調整額の数値は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門の数値であります。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	建築事業	不動産事業	金属製品事業	ホテル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,990,759	1,994,074	407,459	607,845	9,000,139	-	9,000,139
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	4,724	-	4,724	△4,724	-
計	5,990,759	1,994,074	412,184	607,845	9,004,864	△4,724	9,000,139
セグメント利益又は損失(△)	551,991	514,894	2,386	△16,099	1,053,172	△491,120	562,051
セグメント資産	1,784,500	5,606,113	589,028	1,079,805	9,059,447	5,222,382	14,281,829
その他の項目							
減価償却費	18,397	70,969	18,246	39,981	147,594	7,170	154,765
のれん償却額	-	-	-	-	-	30,413	30,413
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,964	400,446	1,183	200	403,793	280	404,073

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 調整額の数値は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門の数値であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,018.66円	3,108.35円
1株当たり当期純利益	220.80円	127.06円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,673,235	11,035,756
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,673,235	11,035,756
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	3,535	3,550

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	779,814	450,480
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	779,814	450,480
普通株式の期中平均株式数(千円)	3,531	3,545

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 新任取締役候補

取締役 下瀬川 泰 (現 執行役員財務部長)

取締役 長谷川 哲夫 (現 執行役員総務部長)

② 昇格取締役

代表取締役副社長 馬場 雄一郎 (現 代表取締役専務)

専務取締役 永武 浩 (現 常務取締役)

常務取締役 清本 孝敏 (現 取締役建築部長)

③ 就任及び昇格予定日

2020年6月26日